



The door to the books

令和7年度
五島高校：図書委員会
2月25日作成
3月13日発行

図書委員制作担当
1-1
1-1
1-3
1-3

こんにちは！図書委員会です。
先日3年生が卒業し、少し寂しくなりましたね。
春の気配も感じる季節になり、皆さんもいよいよ進級の時期になってきました。
環境の変化に慣れなくて、悩んだとき、ぜひ図書館でヒントを探してみてください。

こころ

著者：夏目 漱石
出版社：新潮社



鎌倉の海岸で「先生」と出会った大学生の「私」は、先生の不思議な浮世離れした人格に惹かれ、交流を深めていく。しかし、先生には常に暗い過去の影を背負っていた。やがて先生から届いた遺書には、かつての親友と一人の女性を巡る葛藤、そして親友を裏切った自責の念が綴られていた。
人間のエゴと孤独を静かに描いた夏目漱石の傑作。進級前にぜひ読んでほしい一冊です。

タイタン

著者：野崎 まど
出版社：講談社



AI「タイタン」により、人類が労働から解放された未来。心理学を趣味とする内匠成果は、突如として世界を支える巨大AIのカウンセリングを依頼されます。知能が肥大化したAIが抱える「悩み」とは…。
仕事の本質と、人類の存在意義を問いつつ哲岳的な小説です。これからのAIのあり方を考えさせてくれるお話です。

栞と嘘の季節

著者：米沢 穂信
出版社：集英社



図書委員の堀川と松倉が、返却された本の中に押し花にされた「毒の草」を見つけるところから物語は動き出します。校内で起きた不可解な事件と、猛毒の栞。持ち主を捜す二人の推理が、やがて学校の平穏を静かに浸食していきます。
青春の瑞々しさと、米澤穂信らしい鋭い人間洞察が光る、ビターな校内ミステリーです。

さよなら、灰色の世界

著者：丸井 とまと
出版社：スターツ出版



高校1年生の楓は、いつも周りに合わせてしまい自分を見失っていました。ある日突然、色が見えなくなり、人の個性を表すオーラだけが色付いて見える「グレーエラー」という病気を発症してしまいます。そんな楓が、様々な悩みを抱えるクラスメイトたちとの関わりを通して「自分らしさ」について考えていくお話です。
高校生だけでなく、生きていく中で大切なことが沢山詰まった一冊です。ぜひ、読んでみてください。

カラフル

著者：森 絵都
出版社：文藝春秋



「おめでとうございます！抽選に当たりました！」
生前の罪により輪廻のサイクルから外された「ぼく」の魂が、天使の抽選に当たり、自殺した中学生・小林真の体に憑依し、また生まれ変わるために再挑戦する物語。
一文目のセリフから始まるこの物語は、なぜ真は自殺したのか、真を通して「ぼく」にどんな変化が起こるのか、タイトル「カラフル」の意味とは？そのすべてが紐解かれたとき見える世界がカラフルになるお話です。

「千と千尋の神隠し」のことばと謎

著者：佐々木 隆
出版社：国書刊行会



あの名作『千と千尋の神隠し』には、たくさんの「言葉」と「謎」が隠されています。その「言葉」や「謎」を日本古来の八百万の神々の思想を軸に紐解いていきます。例えば、カオナシの意味や、名前を奪われる理由、湯屋という異世界の構造などなど。
単なる映画の解説ではなく、その当時の現代社会への批評性までを鋭く考察する一冊です。
皆さんが知らない作品の裏側の「謎」を解き明かしてみませんか。ぜひ手に取ってみてください。

出会いと別れ特集

令和7年度図書委員がおすすめする「図書だより」はいかがでしたか？
春は終わりと始まりの季節であり、これらの経験を通じて成長できる時期でもあります。
別れを乗り越え、出会いを大切にすることが、人生を豊かにするでしょう。
このページでは、出会いと別れの本を特集しました。



桜のような僕の恋人
著者:宇山 圭佑
出版社:集英社

美容師の美咲に恋をした晴人。彼は彼女に認めてもらいたい一心で、一度諦めたカメラマンの夢を再び目指すことにします。やがて恋人同士になる二人ですが、そんな幸せは長くは続きませんでした。美咲が人の何十倍もの速さで老いる病気にかかってしまったのです。年老いていく姿を晴人に見られたくないと思ひ悩む美咲...そんな桜のように儂く美しい物語です。
人とは違うからこそ精一杯生きる美咲の姿に涙なしではられません。ぜひ手に取ってみてください。



陽だまりの彼女
著者:越谷 オサム
出版社:新潮社

二人は中学時代に出会い、10年後に再会し、再び恋に落ちます。かつていじめられていた彼女は、見違えるほど美しく聡明な女性になっていました。やがて二人は結婚。幸せな日々を送る中で、彼は彼女の驚くべき秘密を知ることになります。その秘密とは...二人の行く末がどうなるのか読んでのお楽しみです。

この小説は「女子が男子に読んでほしい恋愛小説 No.1」というキャッチコピーも話題となりました。



愛されてんだと自覚した瞬間
著者:河野 裕
出版社:文藝春秋

千年前の平安時代、ある女は神からの求婚を袖にして、愛する男とともに輪廻転生の呪いをかけた。生を繰り返す二人は、様々な時代で出会っては別れ、そして現代。その呪いをかけられた岡田杏は「運命の恋人探し」を放棄し、ルームメイトの守橋祥子とともに令和の世を謳歌していた!?というお話です。

千年を経て、「女」と「男」の考え方の違いがとても深く刺さる物語です。ぜひ手に取ってみてください。



青くて痛くて脆い
著者:住野 よる
出版社:KADOKAWA

人付き合いが苦手な大学生・田端楓は、理想論を振りかざす秋好寿乃と秘密結社「モアイ」を結成します。しかし、秋好は消え、組織は就活サークルへと変貌しました。

人が繋がりを求める葛藤や、理想と現実の狭間で揺れ動く若者の心情を描いた青春サスペンスです。
気になる方はぜひ図書館で借りてください。



一瞬を生きる君を、僕は永遠に忘れない
著者:冬野 夜空
出版社:スターツ出版

「君を私の専属カメラマンに任命します！」クラスの人気者、香織の一言で輝彦の穏やかな日常は終わりを告げました。自由奔放な彼女に振り回されっぱなしの日々を送りますが、ある時、彼女が明るい笑顔の裏で、重い病気と闘っていることを知り...。「僕は本当の君の姿を撮り続けたい」輝彦はある決意を胸に香織の写真を撮り続けます。切なくも、一生の中で一番輝いていた二か月間を描いた美しい純愛ストーリーです。

人との繋がりを大切にしたい一冊です。



きみの色
著者:佐野 晶
出版社:宝島社

人が「色」で見える高校生・トツ子は、古書店で出会った美しい「色」を持つ少女・きみと音楽好きの少年・ルイとバンドを組むことになった。聖歌隊や学園祭での、演汗テイク奏を通じ、三人は音楽で心を通わせていきます。

誰にも言えない悩みや「本当の自分」を音色に乗せ、自らの色を輝かせていく青春物語です。

ぜひ手に取ってみてください。